

東日本大震災では、津波によって大きな被害を受けました。津波には、どのような特ちょうがあるのでしょうか。

海の底で地震が起こると、津波がとても速いスピードと大きな力で陸地におしよせることがあります。

津波の特ちょう

●津波の速さ



津波はとても速いスピードでおそってきます。海岸付近での津波は、100mを約10秒の速さで進みます。津波が見えてからでは、にげることができません。

●津波の力

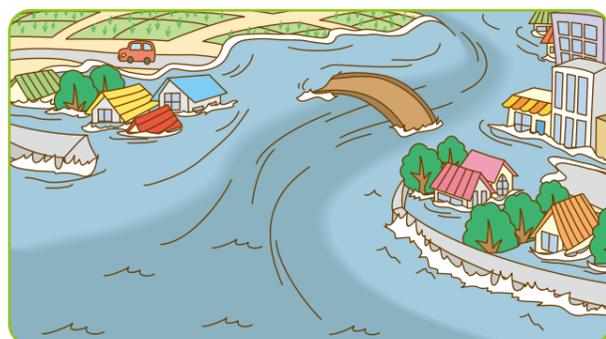


津波の力はとても強く、家や自動車があっという間におし流してしまいます。高さが30cmの津波でも、人間が流されてしまうきけんがあります。

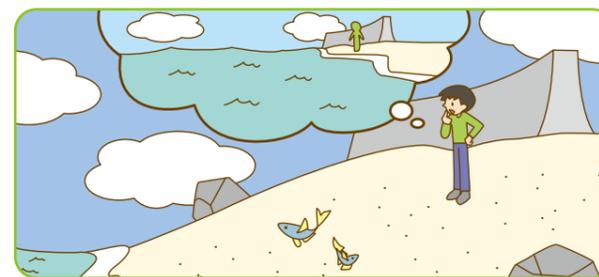
●津波の動き



津波はくり返しやってきます。また、数時間以上してから最大の津波が来る場合もあります。



津波は川を上り、内陸深くまで進む場合があります。また、ていぼうをこえ、まちや田畑に進む場合もあります。



津波がおしよせる前には、海面の水位が下がり、ふだん見えない海の底があらわれたりする引き波が起こる場合があります。

覚えておこう

- ①津波のスピードはとても速い。
- ②津波の力はとても強い。
- ③津波はくり返しやってくる。
- ④津波は初めに來る波がいちばん高いとはかぎらない。
- ⑤津波は川を上る。
- ⑥津波が來る前には、引き波が起こる場合がある。

防災知識

①地震のゆれが小さくても、ゆれが長く続いたら大津波のきけん！

ゆれが小さくても津波がおそってくる場合があります。「明治三陸地震」では、ゆれが小さかったにもかかわらず、大津波が発生し、宮城県では、3,452名の死者が出ました。

②外国の大きな地震でも津波に注意！



津波は外国からも来るんだね。



1960(昭和35)年、チリという国で大地震が起こり、発生した津波が約20時間後に日本に達し、大きな被害を引き起こしました。宮城県では、この津波で53名の死者・行方不明者が出ました。

津波の特ちょうを知り、自分の身を守れるようになることが大切です。